

高齢者のふれあい拠点・休憩所としてコミュニティ施設「よらんせ」を設置。
 高齢者や遠隔地からの来訪者の利便性を追求し商店街の集客力UP！

津久見商工会議所

機関名	津久見商工会議所		
所在地	大分県津久見市中央町29-4		
電話番号	0972-82-5111		
地域概要	(1)管内人口 22千人	(2)管内商店街数 1,100商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 7	(2)会員数 226商店	
	(3)空店舗率 12.4%	(4)大型店空き店舗数 1	
	駅前通り商店街、高洲町商店街、ほか5商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者交流施設）
 ・待合いの場、トイレ等の提供
 総事業費 3,291千円

【事業実施内容】

1. 背景

津久見市は、県の中心都市大分市から南東に約30kmの豊後水道に面した海沿いの都市であり、北に臼杵市と南に佐伯市及び上浦町、弥生町と境を接している。市内にはJR日豊本線が通っており、津久見駅と日代駅が存在している。大分駅まで特急で約45分の距離にある。道路は大分・臼杵方面へは臼杵バイパスが通っており、車で大分まで約1時間15分である。

JR九州津久見駅近くにある駅前通り商店街は、津久見市の中心部にあり、街路事業により直線のケヤキ並木の通りとして、地域商業の柱として栄えてきた。しかしながら、近年の車社会の進展に伴う大型商業施設の郊外進出や、都市構造の変化等による居住人口の郊外への流出が進み、その結果空き店舗の増加による空洞化や、購買力の他地域への流出等が問題となっている。さらに、駅前通りにあった寿屋津久見店が平成13年に撤退し、商店街の空洞化に拍車をかけることになった。

それまで待合いの場及びトイレ等の機能を有していた同店舗の閉鎖を契機に集客力が落ちた商店街の利便性向上を図り、地元消費者（特に高齢者）の集客を取り戻して賑わいを



津久見市位置図（津久見商工会議所HPより）

創出することが急務であった。そこで、休憩所・トイレ等を商店街に設けることで中心市街地としてふさわしいソフト面での充実等を念頭に入れながら、高齢者のふれあいの拠点となることを重点において本事業を行うこととした。

2. 事業内容

商店街の空き店舗（旧レコード販売店）を活用した高齢者向けの交流施設を整備・運営することにより、店主のやる気を高め、市中心部の再生を目指して開発した津久見港埋立地の商業用地との連携を深めることにより、活性化を図ることを目的としている。

(1) 施設概要

- ①名 称：休憩所「よらんせ」
- ②所在地：津久見市中央町20-5（駅前通り商店街内）
- ③開設日：平成16年6月17日
- ④休 日：年中無休（午前9時～午後5時）
- ⑤面 積：20坪

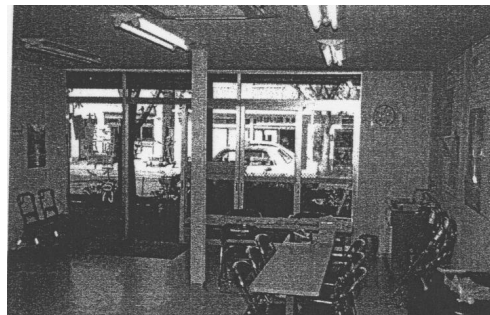
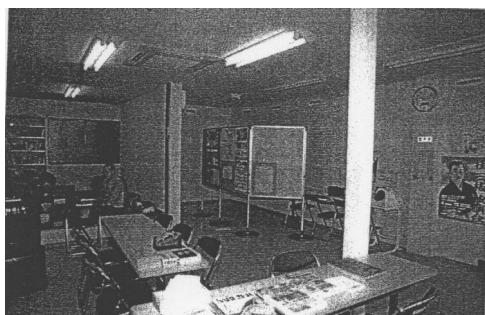


休憩所「よらんせ」外観

(2) 来場者数

施設開設から8ヶ月、来場者数は以下の通りであった。

平成16年					平成17年			合 計
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
230人	193人	237人	228人	189人	90人	174人	262人	1,603人



休憩所「よらんせ」内部の様子

(3) イベント等

①健康保険士による健康相談会

市役所から午前中いっぱい健康保険士が待機し、毎回3～4人の方が健康相談に訪れた。

期間：平成16年9月～平成17年3月までの第2水曜日

②町の景観写真コンテスト

年2回市役所の都市建設課が一般公募した町の景観の写真を発表・展示した。

期間：平成16年10月第2週～第4週

③子供とのふれあい将棋教室

当施設の奥に6畳分の板の間があり、そこで毎日7～8人の高齢者が将棋をさしている。その方々が将棋に興味がある小学生等に対し打ち方などを教えた。

期間：平成16年11月～平成17年3月毎週土曜日

④商店街買物情報展示サービス

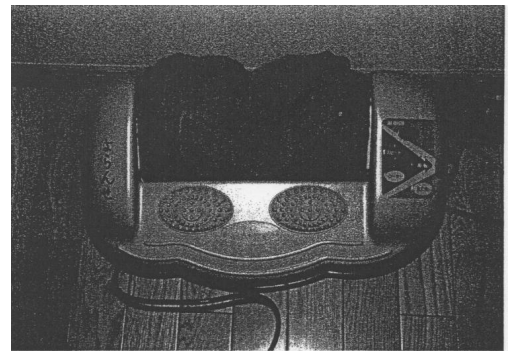
商店街の夏・冬のセールのチラシなどを掲示した。

期間：平成16年8月～平成17年3月

(4) 施設の高齢者等対応機能

①フットマッサージ器

買物帰りなどで足が疲れた高齢者が利用している。



フットマッサージ器

②ショッピングカート貸し出し

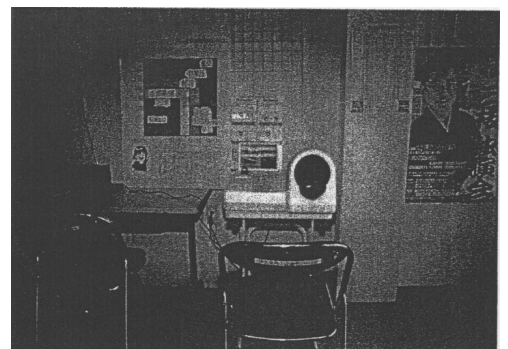
離島など遠隔地から来た消費者に対して、買物が楽にできるようにショッピングカートを無料で貸し出している。



ショッピングカート

③血流血圧測定器

毎日の健康状態をチェックするため高齢者がよく活用している。



血流血圧測定器

(5) 各種情報発信

消費者等の役に立つ以下の情報を常に発信して利便性を高めている。

- ・商店街の買物情報展示サービス
- ・空き店舗情報
- ・旅行案内
- ・グルメ情報
- ・求人情報

【 効 果 】

1. 来街者の行動

施設ができたことにより消費者の利便性が向上し、商店街利用者には楽しく利用していただいている。特に、対象商店街のイベント（夜市・冬まつり）の際は多くの来場者に利用されており、また、商店街を利用する離島、遠隔地の消費者にとっては、交通機関の待合いの場として、重要な役割を果たしている。

2. 地域住民が集まる場

市民グループやボランティアグループの会合に利用されているほか、商店街も集会の場として利用している。さらに、毎月第2水曜日に実施した月に一度の保健士による健康相談についても、高齢者等に浸透しており、月によって差はあるものの毎回数名が参加している。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 新たな機能の付加

来年度からは、月に一度、福祉相談会を当施設で開催する予定である。また、季節に応じた特産品の販売も計画される等、新たな利用を予定している。今後も、コミュニティ施設としてのより一層の充実と利用の促進を図りながら、地域商店街と消費者・高齢者に貢献できるように努めていかなければならないと考えている。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

当コミュニティ施設は、無人休憩所で管理人がいないため、防犯・防災などの注意が必要となる。日程的に間を空けず継続してイベントを行なうことで、常に「よらんせ」に人がいる状態を作り上げる。そうすることで、管理人がいなくても来場者がみていてくれるので、だれかが施設内の器財を無断で家に持ち帰ってしまうことを防いだり、タバコの火にお互いに注意しあったりなど防犯・防災対策に繋がる。子供の書道や絵画の展示を行うと、近隣の高齢者が多く集まるイベントになるといったように、人が集まるイベントをある程度考えて展開したほうが高い効果を得られる。

【 関 連 U R L 】

津久見商工会議所 <http://www.tscci.or.jp/>